

商 団 連

第330号

平成24年11月1日

1部 50円

発行所
 全国卸商業団地協同組合連合会
 東京都港区虎ノ門1-8-10
 セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)
 電話 03-3591-1251(代表)
 編集発行人 平澤和人

平成二十四年度第一回事務局長会議開催

みちのく青森での開催!

去る10月19日(金)、(協)青森総合卸センター会議室において、平成24年度第一回商団連事務局長会議が開催された。青森での開催は昭和51年以来2回目の開催となった。

当日は、北は北海道、南は沖縄の全国各地から52団地54名が出席した。はじめに板垣文弘代表世話人より挨拶が行われ、引き続き地元(協)青森総合卸センター元木一純理事長より歓迎の挨拶が行われた。その後全員協議会が開か

れ、はじめに事務局より平成23年度事業および収支報告が行われ、手塚監事(協)横浜マーチャンダイジングセンター(専務理事)より監査報告がなされ、審議の結果、板垣代表世話人が今回の事務局長会議をもって世話人を辞任することから世話人の補充が行われた。後任の世話人には事務局局長会会則に基づき(協)仙台卸商センター浅野幸夫事務局長が推薦で選出された。引き続き代表世話人の選任が行われた。代表世話人は世話

人の互選により選出することになっていることから、臨時世話人会が別室にて行われ、(協)ベイタウン尾道高永英明専務理事が代表世話人に選出された。

全員協議会終了後、2台のバスに分乗し団地内施設の視察を行い、その後(協)青森総合卸センター藤本和夫専務理事より同団地の概要、団地を取り巻く経済環境、団地の重点事業(高度化事業、景観事業、環境事業)についての詳細な説明を受けた。休憩をはさみ、同団地が経験した二休性

維持訴訟)について、訴訟の経緯、反対運動はなぜ起きたのか等について詳細な説明を受けた。実際に経験した訴訟に基づいての説明であったために、当時の大変さが身にしみ、今後の団地運営にも大いに参考になった。

昼食をはさみ午後からは、板垣代表世話人より団地運営、総会対応についての説明が行われた。身近な問題でありこのテーマも大変参考になった。その後、商団連事務局より「商団連を核とした卸団

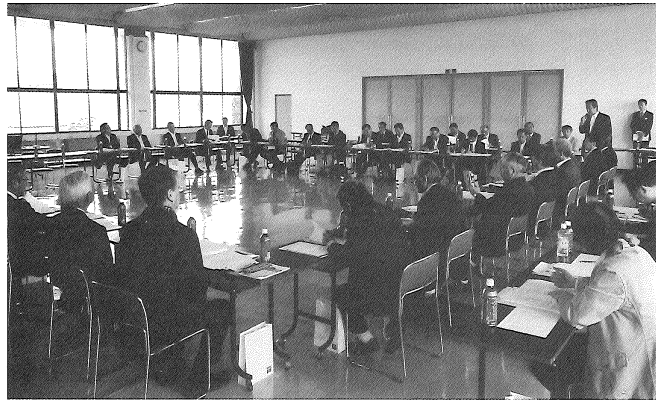
地の災害時支援ネットワーク」の概要説明、事務連絡が行われた。休憩をはさみ、各団地からの事例紹介が行われた。(協)横浜マーチャンダイジングセンター手塚専務理事より「BCPソリューションとしてのMDCクラウド・モデルの取組み」(BCP対策の一環として情報データのバックアップシステムの開発)についての説明、(協)山梨県流通センター村松専務理事より「従業員の安否確認サービス」についての説明が行われた。

最後の項目として、商工中金青森支店の菊地一雄支店長より、最近の金融情勢、25年3月末に取り扱いが終了する金融円滑化法に対する対応等についての説明を受けた。会議終了後、「ホテル青

森」に移動し懇親会が行われた。懇親会には、佐々木郁夫青森県副知事、鹿内博青森市長、蝦名文昭青森県中小企業団体中央会会長、吉田隆男専務理事、林光男青森商工会議所会頭がご来賓として出席され和やかな歓談が行われた。

懇親会においては、津軽三味線、津軽民謡、手踊りが披露され、中締めは来年の幹事団地である奈良県総合卸商業団地(協)瀧山治幸事務局長によって行われた。瀧山事務局長は、奈良は平城遷都1300年を迎え、世界遺産に登録されている法隆寺、東大寺、興福寺など多くの社寺、古墳があり見どころ満載ですので、是非奈良にお越しくださいと挨拶された。

懇親会には、佐々木郁夫青森県副知事、鹿内博青森市長、蝦名文昭青森県中小企業団体中央会会長、吉田隆男専務理事、林光男青森商工会議所会頭がご来賓として出席され和やかな歓談が行われた。



事務局長会議



トランクボックス視察



懇親会

商団連グループ保険(会社掛)のご案内

職員や従業員の万が一の時に備えたいが...

そんなお悩みの事業者のみなさんへ商団連グループ保険がぴったりです。

しかし、あまり費用がかけられない...

手厚い保障

病気死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害
不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

加入資格

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方まで健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

手頃な掛金

例) 40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合
ひと月の掛金は282円

掛金の扱い

掛金は、会社負担となり福利厚生費として全額損金に算入できます。

※他にも商団連独自の見舞金制度もあります。

ご加入年齢	病気死亡・高度障害保険金
15歳~70歳	100万円~1,000万円

パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

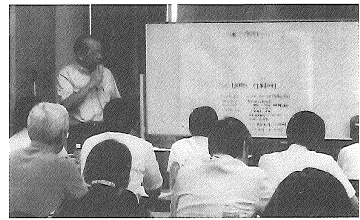
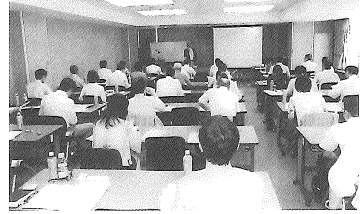
全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階
TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社



「卸団地組合職員研修会」開催

全国から39名参加



去る8月2日(木)、3日(金)の2日間に行われ、東京都港区芝公園の機械振興会館において「卸団地組合職員研修会」が開催された。

卸団地においては、設立以来多くの年月を経過し、組合事務局及び組合員企業で世代交代が進み、組合の求心力の低下や組合への帰属意識の希薄化が懸念されており、組合の活性化が求められている。

合活動を行える人材の育成及び卸団地間職員のコミュニケーションの円滑化を図ることを目的として実施した。研修会には36団地から39名(男性30名、女性9名)の組合職員が参加した。研修内容は下記の通り。

講義内容		講師	
組合運営と今後の展望について 組合員加入・脱退に係る会計について	(協)仙台卸センターの取組みについて	中小企業診断士 清水 透氏	
最近の中小企業を取り巻く経済・金融動向について	前専務理事 板垣 文弘氏	中小機 高度化事業推進課 主任 鈴木 学氏	
高度化事業の概要について	商工中金 調査部長 大岡 勇氏	住友生命 渉外部長 上田 幸治氏	
商団連グループ保険制度について		中小企業診断士 清水 透氏	
組合事務局に求められる組合員支援			

本年度ブロック会議はじまる

「北海道ブロック会議」 幹事団地は(協)北見総合卸センター

北海道ブロック会議は、9月13日(木)北見市のホテル里部において、6団地26名が出席し開催された。

会議は、主催者を代表して守和商団連理事(協)札幌総合卸センター(理事長)の関谷隆彦、幹事団地である(協)北見総合卸センターの佐々木一明理事長の挨拶が行われ、来賓、オブザーバー紹介につき、各関係機関からの説明が行われた。

最初に、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部中島真部長より北海道本部の活動について、同道

北見市において、6団地26名が出席し開催された。

引き続き、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景原の現状、危機対応業務、成長戦略総合支援プログラムについて、それぞれ資料に基づき説明が行われた。

さらに、住友生命の上田部長より商団連グループ保険の概要説明、当連合会より災害時支援ネットワークの説明が行われた。

その後、各団地より団地の現状について報告、意見交換が行われた。

会議終了後、同ホテルに

席し、平成23年度事業報告及び収支報告、平成24年度事業計画及び予算案について審議された。来年度の幹事団地は(協)横濱マーチンゲンディングセンターに決定し、東北との交流会と同日に開催することとなった。

会議は、宇都宮卸商業団地(協)の概要説明、栃木県中小企業団体中央会の活動報告がなされ、その後、参加団地の活発な意見交換が行われた。



北海道ブロック会議



近畿ブロック会議

「近畿ブロック会議」
幹事団地は泉州卸商業団地(協)

近畿ブロック会議は、10月10日(水)大阪市のメルパルク大阪において、12団地21名が出席し開催された。

会議は尾池良行会長(大阪船場織維卸団地(協)代表理事(会長))の主催者挨拶、幹事団地である泉州卸商業団地(協)奥田耕策理事長の挨拶、来賓、オブザーバーの紹介につき、各関係機関からの説明が行われた。

最初に、中小企業庁経営支援部商業課山一成一課長より平成25年度の中小企業関係概算要求等のポイントや消費税引き上げに関する状況などについて、大阪府商工労働部商業・サービス産業課内田吉彦総括主査より大阪府が取組んでいるあきんどカフェの開設(卸売業のネットワークの構築)

東北協議会の森幹雄代表幹事(協)盛岡卸センター専務理事)、関東甲信越協議会の川岸一義代表幹事(高崎卸商社(協)専務理事、幹事団地(協)秋田卸センター)桑原功理事長の挨拶がそれぞれ行われた。

最初に、(協)秋田卸センター藤原正志常務理事より組合の概要説明が行われた。その後、商団連東原真専務理事より非常時商品供給システムの具現化策についての説明がなされた。非常時商品供給システムの具現化策については活発な意見交換が行われた。

各地区の催し

関東甲信越・東北連絡協議会交流会開催
3回目の開催 幹事団地は(協)秋田卸センター

関東甲信越・東北連絡協議会の交流会が9月7日(金)(協)秋田卸センター多目的ホールにおいて開催された。

当日は、16団地17名が出席し、秋田まるごと市場を視察し、秋田卸センター多目的ホールにおいて懇親会が行われた。

当日は、16団地17名が出席し、秋田まるごと市場を視察し、秋田卸センター多目的ホールにおいて懇親会が行われた。

関東・東北 交流会

関東甲信越連絡協議会幹事会が、9月27日(木)、宇都宮市のホテル・サンシャインで開催された。幹事団地は宇都宮卸商業団地(協)。



関東協議会 幹事会

卸売業機能強化フォーラム開催 主催は秋田県の4卸団地

(協)秋田卸センター、(協)横手卸センター、(協)能代商業卸センター、(協)大館総合卸センター

(協)秋田卸センターを中心とする秋田県内4団地が主催する「卸売業機能強化フォーラム」が、10月10日(水)秋田キャッスルホテルで開催された。

題は「地域卸売業復権へのチャンス」卸売業の明日へのイノベーションとチャレンジの方向を探る。

第2部は事例発表&パネルディスカッション。事例発表、パネリストは、(株)サブリコ代表取締役会長C.E.O. 秋葉吉秋氏、社団法人日本加工食品卸協会専務理事 奥山則康氏、(株)ヤマダ

第3部がビジネスマッチング交流会。

3部構成で、第1部は基調講演。講師は宮下正房氏(一般社団法人日本卸売協会副会長(前理事長)、東京経済大学名誉教授)、演

第2部は事例発表&パネルディスカッション。事例発表、パネリストは、(株)サブリコ代表取締役会長C.E.O. 秋葉吉秋氏、社団法人日本加工食品卸協会専務理事 奥山則康氏、(株)ヤマダ

第3部がビジネスマッチング交流会。

第3部がビジネスマッチング交流会。